

第 1 回福島問題予備研究会 議事録

2015.01.07 記録者 郷

日時：H27 年 1 月 7 日(水)15:00—17:30

場所：化学工学会 会議室

出席者：小林，橋本，横堀，中尾，鈴木（紹），戸井田，松井，郷（8 名；全員出席）

議事録：

## 1. IRID との打ち合わせの準備事項確認

\* 2 月半ばに IRID との意見交換会を予定しており、化学工学会の委員会メンバーと同席する

化学工学会からの出席者：前会長、長谷部委員、会田事務局長

SCE-Net よりの出席者：小林，橋本，横堀，中尾 4 名

\* 準備資料（我々のアクティビティを知ってもらうことを目的とする）

・IRID に対し，我々が何ができるかを言う→化学工学として何をやってきたかがいいと思う。

・プロジェクト・マネジメントの働きもその一つ →小林がまとめる。

・単位操作の事例，まとめ→中尾

## 2. 福島問題委員会の報告(小林より)

小林さんの議事録(メモ風)を参照，

従来経過としては，第 2 回：佐藤先生（東北大），除染の話

第 3 回：竹下先生(東工大)，除染と汚染水の話；沼田様の話

第 4 回委員会の決定事項として；

(1) 第 80 年会で，シンポジウムの開催(初めての試み)する。

(2) 各部会活動の集約；後処理の活動を集約したい意図

(3) ケミカル・エンジニアの視点を提案する；まず，NDF に対して，そのプレゼン材料として，IRID のロードマップやプロジェクトについての見方などを紹介する

(4) 活動状況を化工会 HP より発信

(5) F1 見学など。

## 3. 各自の意見紹介

戸井田：ALPS のことを調べた。ALPS は陽イオン吸着，陽イオン交換であり，陰イオンは取れていないだろう。

中尾：トリチウム除去に関連して水電解装置を検討してみた。

郷：技術的な意味での提案はない。今は「ケミカル」が大事。できるだけ貢献したい。

松井：ゼオライトライン，ALPS の解析に興味あり。吸着除去の解析を第 1 歩として取り組んでみたい。

鈴木：ALPS の問題を腐食問題の観点から興味を持っている。腐食問題では協力できるし対応はする。

横堀：課題は(1)オンサイト汚染水問題対策，(2)オフサイト汚染土壌の処分処理，(3)燃料デブリの処理，など

橋本：事故後，除染の技術評価に携わってきたが、「化学工学的アプローチ」とは一体なんだろうか。と思う。

## 4. 議論：省略

以上